

# つ やま けん い き ていじゅう じ りつ けん 津山圏域 定住自立圏 とは？

津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町の1市5町で平成29年1月に協定を締結し、津山圏域定住自立圏として様々な広域的取り組みを行っております。

近年、津山圏域においても急速な人口減少と少子高齢化が進行し、今後、この傾向が一層強まると予測されており、この対策が各自治体の喫緊の課題となっております。

定住自立圏とは、中心市である津山市と周辺5町とが役割分担し、互いに連携・協力して様々な広域的取り組みを行うことにより、圏域全体の活性化を図り、都市部への人口流出を食い止めようとするものです。

人が集い安心して暮らせる共存共栄の地域社会、持続可能な津山圏域を実現するため、1市5町の強い連携により全力で取り組みます。



定住自立圏として岡山県へ要望

## ～定住自立圏での取り組みの紹介～

### 高規格道路「空港津山道路」整備促進事業

国土交通省で計画されている、津山圏域と岡山空港や県南地域を結ぶ「空港津山道路」について、岡山市と定住自立圏1市5町で、早期整備・早期全線開通の実現に向けて連携して取り組みます。空港津山道路は圏域住民の暮らしの質的向上や経済活動の活性化、救急搬送の時間短縮、国道53号通行止め時の代替路となる等、津山圏域にとっては不可欠な道路です。

### 特別支援教育推進センター事業

特別な教育上の支援を必要とする幼児、児童、生徒の自立と社会参加に向けて、適切な指導と必要な支援を行う「特別支援教育」について、津山圏域の拠点として「特別支援教育推進センター」を1市5町で連携して運営しています。

津山市内の北小学校、西小学校、ならびに津山西中学校に設置された教室で行う通級指導や教育相談体制の強化などにより、津山圏域内における子ども一人一人の可能性を最大限に伸ばすことを目指します。



左記2次元バーコードを読み込んで空港津山道路に関する動画もご覧ください。



津山圏域定住自立圏では、上記2事業を含む全41事業を連携して行っております。詳しい情報は「津山圏域定住自立圏第2期共生ビジョン（令和4年3月）」をご覧ください。

津山圏域 第2期共生ビジョン



で検索してください